

ガバナーメッセージ

国際ロータリー2820 地区

2020-21 年度 ガバナー 池田正純(牛久 RC)

今年の一月に米国のサンディエゴにおいての国際協議会で、2020-21 年度ホルガー・クナーク R.I.会長の国際ロータリーのテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」の発表がありました。帰国して早速準備に取りかかり、さあ三大セミナーだと言う時に COVID-19 が中国より世界中へ広がってしまいました。その為に予定していたイベントは全て中止となり、三大セミナーも DVD による異例の映像による研修になってしまいました。また前年度の最大のイベントであります地区大会も実施できずに終わってしまいました。

このようなコロナ禍の中、ロータリーの例会も三ヶ月余にわたり休会を余儀なくされたクラブが多かったようですが、その中でいろいろな例会の方法を模索されていたと思います。例えばズーム例会とかスカイプを使うとか まさに新しい例会の方法だと思います。ホルガー・クナーク会長も言うておりましたが、一緒に座って食事をするだけで良い例会ではなく、100 年以上例会を開いたからと言ってそれが唯一の方法ではありません。例えば週一回オンラインで例会を行い、スマホのアプリで連絡を取り、顔を合わせるのは月一回のクラブもあるそうです。

これが今年度の地区テーマでもある「ロータリアンのイノベーション」にちょっと当たるような気が致します。このような例会は特に若い人には人気があるようです。これを機会に皆さんで話し合ってみてはいかがでしょうか。

地区の目標としましては環境問題の強化とロータリーの組織的変革を二本柱に掲げ進めていこうと思います。特に環境問題は大変広範囲にわたってしまいます。ざっと羅列しても 1 オゾン層破壊 2 砂漠化 3 水資源の危機 4 エネルギー問題 5 食料の問題 6 生物の多様性 7 人口爆発と貧困 8 地球温暖化 9 森林破壊 10 ゴミ問題等々挙げられますが、どれか一つに絞って考えていただければ幸いです。

組織的変革につきましては、ホルガー・クナーク会長からのリクエストもあり、必ずクラブでの戦略計画委員会を開催してクラブの強化と活性化に努めて下さい。

ホルガー・クナーク R.I.会長の方針の下、第 2820 地区をより良くしていくことを皆さんとともに進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほど何卒宜しくお願い申し上げます、私からのメッセージと致します。